

三次元計測機および水性塗装ブースの導入による革新的な修理体制の構築

概要

車体構造の多様化・高度化や地球環境への配慮など、昨今の自動車整備業を取り巻く環境変化に対応するため、三次元計測機および水性塗装ブースを導入し、次世代自動車に対応できる革新的な修理体制を構築する。

本事業への取組みの経緯

環境変化への対応

当社は、山口県萩市で自動車の板金・塗装、車両販売、ロードサービス、車検整備、保険などを手掛ける企業である。当社のなかで最も大きな売上を占めるのは板金・塗装事業であり、同事業の主な顧客は損害保険会社や自動車ディーラーなどである。

昨今、燃費向上や安全対策のために自動車の車体構造は多様化・高度化しており、今後これらの顧客からの受注は技術水準や顧客対応力が高く、次世代自動車の修理に対応できる工場に集中することが予想される。業界全体の修理件数が減少するなか、このような環境変化に対応するためには継続的な設備投資が必要であり、当社は三次元計測機と水性塗料ブースの導入を決意した。

本事業の内容

本事業は、昨今の同業界を取り巻く環境変化に対応するため、自動車の損傷を正確に計測できる三次元計測機および地球環境に配慮した水性塗装ブースを導入し、次世代自動車に対応できる革新的な修理体制の構築を目指すものである。

自動車の構造が多様化・高度化するなか、事故による車体の歪みを全て目視で確認することは非常に難しく、従来のような職人の経験だけに依存した診断方法では正確な損傷の診断が困難に

なっていた。損傷診断の段階で正確な計測ができれば、経験豊富な職人であってもミリ単位で完璧に修理することは難しい。そのため、いかに素早く正確に計測できるかが車体を修理する上で重要となっていた。



自動車の修理風景

また、平成16年に改正された大気汚染防止法などへの対応から、現在の日本の自動車メーカーの新車はほぼ全て水性塗料を使用しているが、山口県内の自動車修理工場の多くはいまだ溶剤系の塗料を使用しており、環境対応が遅れていた。水性塗料は溶剤系の塗料と比べてコスト高になるが、完成車メーカーからのニーズが高いこともあり、将来的に主流になる可能性が大きい。

当社ではこれらの環境変化に対応するため、目視では判断しにくい車体寸法を高精度で計測できる、三次元計測機を用いたコンピューター診断を取り入れるとともに、水性塗装ブースを山口県内でいち早く導入し、次世代自動車を修理でき

有限会社山陰ボデー

代表取締役 西村 隆男
設立 昭和 51 年 10 月
山口県萩市大字椿東 3179 番地の 1
〒758-0011
TEL : 0838-22-5827 / FAX : 0838-26-1153
URL <http://saninbody.com/>
資本金額 1,000 万円 従業員数 14 人
業種 自動車整備業

企業概要

昭和 47 年創業。山口県萩市において板金・塗装を中心とした各種自動車サービスを提供している。当社は『お客様の安心・安全のカーライフを提供する』、『山口県で一番お客様に頼りにされ喜ばれるお店に』をモットーとしており、同地域で高い顧客満足度を誇っている。

る体制を整えた。

事業の成果と波及効果

三次元計測機導入による成果

三次元計測機の導入によって、経験年数の少ない作業員でも正確かつ短時間で損傷箇所を計測できるようになり、作業の生産性が大きく向上した。また、修理前と修理後のデータを数値化できるため、顧客に修理内容を明確に説明できるようになり、顧客満足度も向上した。

さらに、同業界では将来的に自動車整備士の人材不足が懸念されているが、三次元計測機を用いることで若い作業員でも早期に戦力化できるため、人材確保の面からも効果的と考えられる。



三次元計測機を使った損傷診断

水性塗装ブース導入による成果

水性塗装ブースの導入によって、完成車メーカーのニーズにも対応できるようになったほか、

溶剤系の塗料から発生する有害物質を抑制することができ、作業員の労働環境の改善や身体的負担の軽減にもつながった。



水性塗料ブースでの塗装作業

当社は板金・塗装における全国大会で毎年優秀な成績を収めるなど技能水準が非常に高い。最新設備の導入といった環境変化を見据えた積極的な取り組みと優れた技能によって、当社はその競争力をより一層高いものにしていく。

今後の展望

今後、当社は高い競争力を背景に板金・塗装事業の商圈拡大を図るとともに、さらなる成長のために自動車販売事業を強化する方針である。同事業を強化することによって、これまで手薄だった一般消費者にもアプローチし、自動車の購入から車検、事故時の修理までワンストップで自動車サービスを受けられる体制を構築する予定である。